

科目ナンバー： BC3083

授業コード： 2230300800

講義科目名称： 精神看護学実習

英文科目名称： Clinical Practice in Psychiatric Mental Health Nursing

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	3学年	2単位	必修
担当教員			
谷本千恵、◎船山健二、伊藤ひかる、小嶋優香			
添付ファイル			

授業種類	【開講】 通年 【授業時間】 60時間 【担当教員】 【氏名】 谷本 千恵 ◎船山 健二 伊藤 ひかる 小嶋 優香 【所属】 新潟県立看護大学 同上 同上 同上 【研究室】 312 306 共同研究室4 共同研究室4 【メールアドレス】 tanimoto@niigata-cn.ac.jp funayama@niigata-cn.ac.jp hitou@niigata-cn.ac.jp ykojima@niigata-cn.ac.jp ・実務経験のある教員が担当します。 【本学の科目区分】 専門科目 【保健師助産師看護師学校養成所指定規則に定める種類】 看護師課程 【DP1】 【DP2】 【DP3】 【DP4】 【DP5】 【DP6】 【DP7】 ○ ◎ ○ ○ ○
------	---

到達目標	1. 精神障がいをもつ人を、病態や症状、発達課題、その影響による生活上の課題やストレスをふまえて統合的に理解することができる。 2. 実践の振り返りを通して、自己理解を深め、看護の対象となる人との援助的関係を形成することができる。 3. 地域精神保健福祉活動の場や精神科病院での様々なアプローチを学び、多職種との連携や協働のあり方について学んだことを表現できる。 4. 地域精神保健福祉活動の場や精神科病院での実習の体験を統合し、精神障がいをもつ人にとってのリカバリーについて考察することができる。 5. 精神障がいをもつ人の価値観や人権を尊重し、倫理的な態度を示すことができる。 6. 学生は実習グループの学生と協働して学修することにより、目標の確認、協力、連絡調整等、共通の目標を持ったチームの一員として活動し、学びを深化・発展させることができる。
------	--

授業概要	精神障がいをもつ人を統合的に理解するとともに、援助的関係を構築するプロセスを通して、その人らしい生活の実現に向けた看護を実践する。
------	---

授業計画	1 授業内容 授業形態：精神科病棟実習 学修課題：精神科病棟に入院する患者を受け持ち、看護展開について学ぶ。 学修内容：精神科病棟における看護実践について、教員・臨床指導者等の助言や指導を受けながら学ぶ。 備考：詳細は精神看護学実習要項を参照すること 2 授業内容 授業形態：施設実習 学修課題：精神科デイケアもしくは、就労支援施設において、精神障害をもつ人の思いや地域生活の実際について学ぶ。 学修内容：各施設のプログラムや活動に利用者と共に参加しながら学ぶとともに、指導者等のスタッフからの説明や質疑応答等を通じて学ぶ。 備考：詳細は精神看護学実習要項を参照すること 3 授業内容 授業形態：学内実習 学修課題：到達目標1～6の到達に向けた学修 学修内容：地域で生活を送る精神障害をもつ人のリカバリーについて、動画視聴とディスカッションを通じ学ぶ。また、実習の学びについてチームで共有し、プレゼンテーションとディスカッションを行い学びを深める。 教員との面談を通じ到達目標の確認を行う。 備考：詳細は精神看護学実習要項を参照すること 事前学修：精神看護学Ⅰ・Ⅱ、精神看護学演習の資料を実習時に活用できるように整理する。 リカバリー・ストレスの理解、看護過程の展開については、重点的に振り返る。 精神科病棟への入院形態、精神科デイケア、障害者就労支援施設については、その
------	--

	内容を事前に把握しておく。 事後学修：日々の実習体験や学びについて指定様式を用いて記録し振り返る。最終レポートとして、「精神看護学実習での学びの体験を統合し、精神障害をもつ人にとってのリカバリーについて文献を用いた考察」を作成する。 興味関心を抱いた事柄について、調べ学修を行う。 備考：詳細は精神看護学実習要項を参照すること
評価方法、評価基準	精神看護学実習評価表に基づき評価を行う。詳細は、「精神看護学実習要項」参照。 到達目標1に対して、看護過程の展開記録(様式1～3)、日々の実習記録(様式4)、カンファレンスの発言内容：40% 到達目標2に対して、プロセスレコード(様式5)、カンファレンスの発言内容：15% 到達目標3に対して、実習記録、カンファレンスの発言内容：10% 到達目標4に対して、最終レポート(様式9)、カンファレンスの発言内容：15% 到達目標5に対して、実習記録の内容、個人情報管理状況、実習時の言動：10% 到達目標6に対して、実習時の言動等実習への積極性、チーム活動の取り組み、プレゼンテーション：10%
必携図書	長谷川雅美(2020)自己理解・対象理解を深めるプロセスレコード第3版, 日総研出版。(演習時に購入済み)
参考図書・資料等	萱間真美(2024)対話でリカバリーを支えるストレングスモデル実践活用術, 第2版, 医学書院. 萱間真美(2021)ストレングスからみた精神看護過程+全体関連図, ストレングス・マッピングシート, 医学書院. 吉川陸博, 木戸芳史(2021)看護判断のための気づきとアセスメント精神看護, 中央法規出版. 木戸芳史(2023)クライアントとともに創るコプロダクション型精神看護過程ー基礎知識・事例&計画シートで実践に活かす, 中央法規出版. 村井俊哉(2022)これだけは押さえない改訂第2版精神科の薬ー抗精神病薬・抗うつ薬・睡眠薬・抗認知症薬…ーはや調べノート, メディカ出版. 武藤教志(2021)他科に誇れる精神科看護の専門技術メンタルステータスイグザミネーションVol. 1, 第2版, 精神看護出版. 武藤教志(2021)他科に誇れる精神科看護の専門技術メンタルステータスイグザミネーションVol. 2, 第2版, 精神看護出版. 狩野俊介, 野村照幸(2024)危機がチャンスに変わるクライシス・プラン入門ー精神医療・保健・福祉実践で明日から使える協働プランー, 中央法規出版.
受講、課題、資料配布等のルール	・各クールの実習初日オリエンテーション時に「精神看護学実習要項」に基づき説明する。 ・必要な文献や資料は、実習の進捗状況に応じて、貸出・配付する。 ・実習時に取得した情報の管理と倫理的配慮に留意すること。
教員からのメッセージ	周囲の人々への優しさと調和を意識した、積極的な実習への取り組みを期待します。
オフィスアワー	疑問や質問がありましたら各実習担当教員または、科目責任者(舩山)までお気軽にお声かけください。 研究室へ訪室いただく場合には、事前にメール等で日時を予約すると確実です。